

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和4年度第4回清須市地域包括ケアシステム推進委員会
開催日時	令和5年2月17日（金） 午後2時から午後2時55分
開催場所	清須市新川福祉センター2階 集会室
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）の取組状況（資料1）</p> <p>(2) 清須市における生活支援体制整備事業の取組状況（資料2）</p> <p>(3) 令和4年度地域包括支援センターにおける地域ケア個別会議（随時開催）の開催状況</p> <p>(4) いこまいか教室フレイルアンケート調査結果追加報告（資料4）</p> <p>3. その他</p> <p>人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊の基本的な活動ガイドラインについて</p> <p>4. 閉会</p>
会議資料	<p>令和4年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿</p> <p>清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱</p> <p>第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）の取組状況（資料1）</p> <p>清須市における生活支援体制整備事業の取組状況（資料2）</p> <p>令和4年度地域包括支援センターにおける地域ケア個別会議（随時開催）の開催状況（資料3）【清須市情報公開条例第7条 非公開】</p> <p>いこまいか教室フレイルアンケート調査結果追加報告（資料4）</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開（一部非公開）
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	加藤委員（委員長）、山内委員（副委員長）河村委員、鎌田委員、小関委員、塚崎委員、堀江委員、伊藤委員（智）神藤委員、宮田委員、塚田委員、田口委員、後藤委員
欠席委員	竹嶋委員、伊藤委員（昭）
出席者 （オブザーバー）	なし
出席者 事務局	（清須市役所高齢福祉課） 加藤健康福祉部長、古川健康福祉部次長兼高齢福祉課長、酒井課長補佐、

	<p>青山介護予防係長、渡辺主任主査、加藤主任主査  (清須市社会福祉協議会)  清須市地域包括支援センター 柴垣管理者  清須市地域包括支援センター さわやか 松岡係長  清須市社会福祉協議会 佐々木生活支援コーディネーター</p>
<p>事業</p>	<p>1. 開会</p> <p>●事務局  皆様、こんにちは。  ただいまから「令和4年度第4回清須市地域包括ケアシステム推進委員会」を始めさせていただきます。私は、本日の進行役を務めさせていただきます、健康福祉部次長兼高齢福祉課長の古川です。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただく事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますので宜しくお願い致します。</p> <p>本日の配布資料の資料3につきましては本市情報公開条例第7条に定める個人に関する情報に基づいて非公開とし会議後に資料を回収いたします。</p> <p>なお、本日の傍聴の方はありませんのでご報告させていただきます。</p> <p>本日は、竹嶋委員、伊藤（昭）委員、オブザーバーの西名古屋医師会高木様が都合により欠席です。</p> <p>なお、地域包括ケアシステム推進委員会は、清須市の地域包括ケアシステムの構築することを目的に設置しており、認知症施策・在宅医療・介護連携推進事業・生活支援・介護予防の基盤整備・地域ケア推進会議に関して、毎回、議題を決めて皆様に協議をして頂きます。</p> <p>本日は、生活支援・介護予防の基盤整備の取組状況、地域ケア推進会議の取組状況等を議題とさせていただきます。</p> <p>次第に沿って議題を進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして健康福祉部長の加藤よりご挨拶を申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">(加藤部長挨拶)</p> <p>●事務局  それでは議事に入りますが、議事進行につきましては設置要綱第5条第3項の規定により委員長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤裕委員長に議長をお願い致します。宜しく</p>

お願い致します。

◎加藤委員長

ただいまから議事に入らせていただきます。

座って失礼いたします。本日の会議録署名委員には、小関委員と河村委員にお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。よろしくお願い致します。

(小関委員、河村委員承諾)

## 2. 議事

それでは、ただいまから議事に入らせていただきますが、ご質問やご意見につきましては事務局の説明をいただいた後に、一括してお受けします。よろしくお願ひします。

まず、2議事 議題(1)「第8期介護保険事業計画(令和3～5年度)の取組状況」及び議題(2)「清須市における生活支援体制整備事業の取組状況」について事務局より報告お願ひします。

●事務局

[資料に沿って説明]

第8期介護保険事業計画(令和3～5年度)の取組状況(資料1)

◎加藤委員長

ただいま第8期介護保険事業計画(令和3～5年度)の取組状況及び清須市における生活支援体制整備事業の取組状況につきましてご説明いただきました。

講演会で男性が参加したい地域活動とありますが、自分に振り返っても2軒隣の人の顔も分かりません。

後藤委員、今回23パーセントの高齢化率があるということで高齢者が増えていると思います。民生委員の方々は一人暮らしの高齢者宅を訪問されていますが昨年と比較して高齢者の生活支援の実態の変化はございますでしょうか。

○後藤委員

1年に1回6月から8月くらいにかけて一人暮らしの実態調査活動をしています。年々ご存じのとおり高齢化率が上がり、私の地域の廻間は新興地域で昔からみえる方は全地域世帯の5パーセントぐらいで、ほとんど住宅を建てて転入している状況です。それにもかかわらずどんどん高齢化が進んでいます。

男女で開きがありますが、80歳以上になると何かの接点をもって介

護サービスに繋げなくてはならないかということがあり、元気な方は余計なお世話だという方はもおりますが、「困ったら頼ってね」という感じでお話はさせていただいております。

年々高齢化が進んでいくのはどこの市町村も変わりがないとは思いますが、生活弱者の方に介護保険、介護サービスに繋げる努力をしていかななくてはならないと思っています。独居高齢者全てに網羅することは難しい事もあり、なんだかの取組を少し目先を変えて実行していかななくてはならないと実感しております。

#### ◎加藤委員長

清須市も高齢化が進んでいると言うことで転入者との習慣の違いで大変なこともあると思います。

神藤委員、一人暮らしの高齢者や認知症の方で業務中で気づいたことがありますらお願いします。

#### ○神藤委員

一人暮らし高齢者、認知症の方、警察として日々対応させていただいておりますが、ご家族のみえる方と独居の方では全く対応が変わってきます。

遠方に行かれていて「普段連絡を取っているのに急に連絡が取れないので確認をしていただけませんか」と言うようなご家族からの依頼があります。

後は認知症の方と認知症の疑いがある方が深夜徘徊して保護されるケースがあります。この中でご家族のみえる方、ご自身のお名前が言える方は対応は可能ですが、独居で身寄りのいない方が一番困ります。

また、認知症の方で自宅の住所は言えるが、夜間や土日・祝日は連絡が取れる家族がみえない独居の方は引き渡しができる方がいない状態で外出し、なんでここにいるのかわからな方はそのまま自宅に送り届けてもまた出てってしまうのではないかと心配です。

先日も元旦の日に一宮市から初詣に熱田神宮に行こうと思い、道に迷ってしまいました。送り届けてもまた出ていってしまったというのが心配だったので役所に連絡を取り、担当のケアマネから「その方なら大丈夫ですよ」という確認が取れました。このケースは行政の方に速やかに連絡が取れましたが、連絡先の把握が出来ない方の対応には苦慮しています。

独居の方が病院で亡くられたり、ご自宅で亡くなっても日が浅いうちに発見されると本人確認を取りやすいですが、日にちが経ってしまつて発見されると、ご遺体の損傷が激しいことがあり、本人確認が出来ないとDNA鑑定をします。そうすると確認にお時間がかかり、ご遺体を速やかに引き取りいただくことが出来ないことがございます。その

際、役所の方はご家族がいるのかということ把握していただいているので、連携していきたいと思っています。

◎加藤委員長

独居の方を地域で見守っていくというのは難しいと思います。

これからもこう言った問題が大きな問題になっていくのかと思います。

山内委員、資料2で地域包括支援センターが2拠点になったことで、変化とか出来るようになったサービスがとか率直なご感想をお願いします。

○山内委員

今年度の6月から2拠点化ということでにしびさわやかプラザに新しい拠点が出来ました。清洲、西枇杷の拠点でそれぞれ日常生活圏域を担当することについてご理解いただけるか、どのようなスタートが切れるか大変心配していましたが、特段大きなご意見をいただいたということもなくお礼申し上げたいと思っております。市民の方から「大変訪問がしやすい」「いろんな対応が迅速に出来ている」「すぐ近くに相談窓口があるという安心感がある」というお声も沢山いただいております、今回の2拠点化が円滑に進んでいることをご報告しておきたいと思っております。

◎加藤委員長

拠点が増えたことによってより細かなことが出来るようになったということですね。

鎌田委員、資料2の生活支援体制整備事業コーディネーターの関わりの中で、寿会で困っていることは何かありますでしょうか。

○鎌田委員

一番の老人会の悩みは年々高齢化社会で入会出来る年寄りが増えているにもかかわらず老人会に入る人がいないことです。会員も現状維持よりむしろマイナスになっております。

この前も会合があった時に、稲沢市の会長さんが10年前に20,000人ぐらいみえたのがここ10年で10,000人を切ったと言ってみえました。

清須市も7,500人ぐらい会員がいましたが、今は6,000人を切っています。

どうしたら会員を増やすことが出来るか。

なかなか良い手立てがないか生活支援コーディネーターさんと協力して検討しています。

◎加藤委員長

対象者は増えているけれども会員は減少している。なかなか厳しい現実かなと思います。

細かな活動、なるべく広報活動を広げていくなど地道に重ねていくしかないのかなと思います。

堀江委員、生活支援体制整備における助言者の派遣ということで資料2の5の講演会などを開催しておられますけれども、今の会員を増やすことも含めて協議体を盛り上げていくために必要だなと行政の場合に感じられるようなことはございますでしょうか。

○堀江委員

昨年度第1回の部会の時に男性をどう増やしていけばいいのか、少し話題が出て話を聞いておりました。やはり男性の社会参加は全国的にも難しいようで、行く必要が感じられないという人が一定数いらっしゃいますので、はっきりした目標の集まる場が出来ればよいと思います。

こうした協議会の中でみんな意見を出し合いながら共通認識を図るところからスタートして、一つ成功事例を作ることが一番大事なことかなと思います。この成功事例の目標もいきなり高いものを目指してしまうと疲れてしまいますので、まずは実現可能な範囲で目標をみんな考えて立てていく、成功事例が出来ていくと地域の中で横にも広がっていくと思いますので、そういった取り組みを協議会の中で考えていけるのかなと思います。

◎加藤委員長

ありがとうございました。

成功事例を作るような魅力のある企画を今後検討していただけたらと思います。

続いて議事の(3)並びに(4)になりますけど、令和4年度地域包括支援センターにおける地域ケア個別会議の開催状況及びいこまいか教室フレイルアンケート調査結果追加報告について事務局お願いします。

●事務局

[資料に沿って説明]

(資料3【清須市情報公開条例第7条 非公開】、資料4)

◎加藤委員長

資料4の結果を見ますと口腔機能の低下がみられることについて何か予防策とかあれば小関委員お願いします。

○小関委員

今後何か改善しなければ1年2年という単位で悪化していく可能性が非常に高いと思います。

◎加藤委員長

ありがとうございました。

高齢化の中で起こってくるフレイル、ここで歯科の先生方のご活躍が大変大きなものがあると思いますので積極的に歯科の先生にご相談いただくようお願いをしたいと思います。

その他ご意見、ご質問よろしいでしょうか。

○鎌田委員

結果報告を見ている資料4-4(1)の年齢構成、これは正確に表現されていると実感しました。

アンケートの年齢構成で70~79歳が一番多い54.5パーセントです。

最近健康寿命でいきますと男性は76歳女性は78歳で、平均寿命でいきますと男性83歳女性87歳、今実際85歳前後で亡くなる人が多いです。

85歳が峠かなと思います。

3. その他

◎加藤委員長

ありがとうございました。

これが今後の課題になっていくと思います。

その他のご意見ご質問とかよろしいでしょうか。

それでは3その他の人生最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊の基本的な活動ガイドラインについて宮田委員お願いします。

○宮田委員

本日は貴重な時間をいただきましてご報告とご協力のお願いをさせていただきます。

「人生最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊の基本的な活動ガイドラインについて」令和5年4月からこの地域で運用を開始させていただくこととなりました。

まだいろいろな疑問点、課題点等ある件については消防本部まで連絡していただければ西名古屋医師会様とも相談しながら進めさせていただきます。

◎加藤委員長

ありがとうございました。

この4月から運用されるということでございます。

完璧な制度を最初から作り上げるということは、あまりにもケースが多すぎて出来ないと思いますので一つ一つの事例を積み上げながら改正しながら具体的な実行性のあるものにしていきたいと思っております。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

その他ご意見、ご質問よろしいでしょうか。

○伊藤委員

先ほどのガイドラインについてなんですけども今年の4月から運用開始だということですが、内容についてどのように完成されるのか教えてください。

○宮田委員

一度各自治会、施設等に資料を配布しており、再度資料が必要であれば言っていただければお送りすることは可能と考えておりますが、実際数が多いため、すべてのところに配布するというのは難しい状況です。

また、会議に参加してお話させていただく時に資料が必要と連絡いただければ用意させていただきます。

◎加藤委員長

これは消防のホームページとか清須市のホームページに載せることは可能でしょうか。

○宮田委員

ホームページに掲載することは問題ないと思っております。

公開できないものではないと思っておりますので、相談させていただこうと思っております。

●事務局

本日は地域課題についていろいろな貴重なご意見ありがとうございました。

こうした会議の中で連携を図りながら地域づくりをしていけることを行政も心強く思っておりますし、頂いたご意見を参考にしながら今後役に立てていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

また今年度予定していましたが第4回目の委員会も無事開催することが出来ました。

委員の任期は2年になっており、今回がこの委員での会議は最後となります。ありがとうございました。



来年度も各団体様を通じて委員の推薦を予定しておりますので本市における地域包括ケアシステムの推進にご協力をいただきたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

◎加藤委員長

ありがとうございます。

これをもちまして本日の議題はこれで全て終了しました。

ご協力によりまして2年の長きに渡りまして委員の大役をさせていただきます本当にありがとうございました。

皆様からいただきました意見がより住みやすいまち清須の大きな力となると思います。

立場を離れられても市に対してもご自身の意見を発信していただけていると思っています。

本当にありがとうございました。

それでは、事務局に担当お返しいたします。

4. 閉会

●事務局

それではこれをもちまして、令和4年度第4回清須市地域包括ケアシステム推進委員会を閉会いたします。本日は円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。

会議の結果	会議の経過に示したとおり
-------	--------------

会議の経過を記載して、その相違のないことを証するためにここに署名する。

署名委員 小関 健司

署名委員 河村 年美